

○胆汁酸の検査

分類	胆汁酸関連
項目名	T-BIL
日本語名	総ビリルビン
英名	Bilirubin, Total
分析装置	LABOSPECT008
測定方法	バナジン酸酸化法
生物学的基準範囲	0.2-1.2
臨床的意義	<p>ビリルビンは、赤血球の中のヘム蛋白(主にヘモグロビン)が網内系で処理されて生成する色素のことです。ビリルビンには、間接ビリルビンと直接ビリルビンがあり、それらを合わせて、総ビリルビンといいます。間接(非抱合)ビリルビンはアルブミンと結合して血中を転送され 肝臓でグルクロン酸抱合され、直接ビリルビンとなって肝臓より胆汁中に排泄されます。ビリルビンの検査では、総ビリルビン値と直接ビリルビン値を測定し、その差から間接ビリルビン値を求めます。黄疸にかかると、体が黄色になるのは、これらのビリルビン色素が血液中に増えるためです。血液中のビリルビンの測定は、各種肝・胆道疾患の診断、経過観察、予後判定や黄疸の鑑別に用いられて、肝機能検査の重要な指標となります。</p>